

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
貞享義民記念館 Tel.77-7550	三郷美術会春季小品展	期3月7日(土)~22日(日) 場1階企画展示室	費無料
田淵行男記念館 Tel.72-9964	田淵行男記念館友の会 写真部作品展 自然へのまなざし	期3月11日(水)~15日(日) 9:00~17:00 (最終日は16:00まで) 場「みらい」展示ギャラリー	費無料
	自然へのまなざし 作品講評会 關小口和利さん(自然写真家)	日3月14日(土) 15:00~16:00 場「みらい」展示ギャラリー	費無料
穂高陶芸会館 Tel.82-6750	春の親子陶芸教室 カップとお皿を作しましょう	日3月21日(土) 午前の部 9:30~11:30 午後の部 13:30~15:30	対中学生以下の子どもとその保護者 費保護者1,040円、中学生以下830円 定各回7組(先着順) ※1組4人まで 申3月1日(日)から電話で
安曇野高橋節郎 記念美術館 Tel.81-3030	バリトン&パーカッション デュオコンサート KONISHOW- 赤の鼓動 - 赤い太鼓と声が刻む原初の響き	日3月21日(土) 13:30~15:00(開場13:00) 場主屋	費一般2,500円、高校生以下1,000円 定80人 申2月23日(月・祝)から電話で

■休館日、開館時間などは各施設へお問合せください。

安曇野高橋節郎記念美術館
企画展示・発表の募集



展覧会、講習会、発表会の会場として、開館日に施設の一部を貸出しています。

場主屋、南の蔵 費主屋:1日2,500円、南の蔵:1日200円

申使用希望日の6カ月前から申込書を直接、FAX(82-0551)、

電子メール(☐info@setsuro-museum.com)のいずれかで提出

問安曇野高橋節郎記念美術館 Tel.81-3030

第40回 コラム 市誌編さんだより
生きものと密接に関わる土壌の世界

市誌編さん専門調査会 自然部会 専門調査員 小山泰弘

土壌は、地球と私たちをつなぐ存在です。

土壌は地球のカケラである岩石と植物などによって生み出された有機物が混じり合ったもの。その中に住む動物や微生物などの力を借りて再び植物を育てる栄養になる重要な基盤です。

自然部会の土壌調査班では、市誌の調査を通じて、普段はなかなか注目されない土壌の世界に興味を持ってもらえるように、生き物の世界と「土」とのつながりに注目し、調査を進めています。

下の写真は、市内で撮影したニホンジカです。これがなぜ土壌と関係するのかと思われるかもしれませんが、草食性動物のニホンジカは、地上の草を食べます。写真のようにたくさんのニホンジカが集まれば、この場所の植物を食べ尽くすこともあります。その場合、山の土があらわになり、雨とともに



ニホンジカ(安曇野市内で撮影)

に周りの土が流され、災害を引き起こす可能性も出てきます。彼らが食べている草の下に広がる土壌。その世界に皆さんも目を向けてみませんか。

豊科郷土博物館春季企画展
土の中からの贈り物
「ここ掘れワンワン」

安曇野の土の中からは、1300万年前の動物の化石から150年前のレンガまで、いろいろなモノが出てきます。それぞれが、現在生きている私たちへの贈り物。出土したいろんなモノを展示します。



サメの歯の化石



埋納銭



2月21日(土) ▶ 5月6日(水) 開館時間 9:00 ▶ 17:00

安曇野市豊科郷土博物館 入館料 一般100円
問い合わせ Tel.72-5672

※会期中、次の対象者は入館無料です。対中学生以下、同伴の大人2人

関連企画

■ワークショップ

石を割って化石を見つけよう!

日3月22日(日)10:00~12:00

場2階学習室

講堀東子さん(松本市四賀化石館学芸員)

費1組 100円

定親子10組(先着順)

申3月12日(木)から電話で

■土の中からの贈り物 鑑定会Ⅰ

石や化石

日4月18日(土)

①10:00~12:00 ②13:00~14:00

場2階学習室

対小中学生

鑑定人 堀東子さん(松本市四賀化石館学芸員)

松田幸子(市職員)

持鑑定してほしい石や化石

費無料 申不要

■土の中からの贈り物 鑑定会Ⅱ

土器や石器や茶碗

日4月25日(土)

①10:00~12:00 ②13:00~14:00

場2階学習室

対小中学生

鑑定人 原明芳(館長)

土屋和章(市職員)

持鑑定してほしい土器・石器・茶碗

費無料 申不要

白井吉見文学館 春の講演会

演題 ニュースと格闘する

報道の最前線で活躍している講師の思いと報道の現状をお話しします。

3月22日(日) 13:30~15:00(開場13:00)

場堀金公民館講堂

講五十嵐裕さん(信濃毎日新聞社論説主幹)

費無料 定100人(先着順)

申2月24日(火)から電話、FAX(71-5127)、電子メール(☐bunshokan@city.azumino.

nagano.jp)のいずれかで

問文書館 Tel.71-5123



五十嵐裕さん